

愛知大学

2025 年度 法科大学院募集要項

愛知大学大学院

法務研究科 法務専攻

お 問 い 合 わ せ

愛知大学大学院事務課 車道事務室 法科大学院係

事務取扱時間 平 日 9:00～12:00 13:00～17:00

〒461-8641 名古屋市東区筒井二丁目10-31

TEL: 052-937-8115

E-mail: ls-info@ml.aichi-u.ac.jp

ウェブサイト <http://www.aichi-u.ac.jp/lawschool/>

目 次

1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
2. 入試日程・募集人員・募集方法	2
3. 出願資格	2
4. 出願書類	4
5. 出願方法・郵送先	5
6. 入学検定料	5
7. 選考方法・選考日・配点・判定基準・試験場	5
8. 受験上の注意	7
9. 合格発表	7
10. 入学手続	8
11. 法学既修者（2年制）コースの単位認定について	8
12. 学費	8
13. 奨学金制度	8
14. 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）と 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）	9
入学志願票	綴じ込み①
受験票	〃 ②
志望理由書	〃 ③
自己PR資料綴り	〃 ④
特別入試Ⅰ志願書	〃 ⑤
特別入試Ⅱ志願書	〃 ⑥
法科大学院地域貢献奨学生志願書	〃 ⑦
入学検定料振込用紙	〃 ⑧
宛名ラベル	〃 ⑨

1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 愛知大学法科大学院は、専門職大学院設置基準第 20 条の趣旨に鑑み、愛知大学法科大学院の学位授与方針及び教育課程編成方針に基づいて実施される入学後の教育により涵養される以下の学識及び能力並びに素養を有する者の確保に努める。当該教育目的に鑑み、かかる入学後の学識及び能力並びに素養を涵養するための教育を受ける上で求められる適性及び能力を有するかどうかを、2 及び 3 の各入学試験の区分に応じて、適確かつ客観的に評価し、判定するものとする。

- 一 法曹となろうとする者に共通して必要とされる専門的学識（専門的な法律知識その他の学識をいう。）
- 二 法曹となろうとする者に共通して必要とされる前号に掲げる専門的学識の応用能力（法的な推論、分析、構成及び論述の能力をいう。）
- 三 前二号に掲げるもののほか、法曹となろうとする者に必要とされる専門的な法律の分野に関する専門的学識及びその応用能力
- 四 次に掲げるものその他前三号に掲げる専門的学識及びその応用能力の基盤の上に涵養すべき将来の法曹としての実務に必要な学識及び能力並びに素養
 - イ 法的な推論、分析及び構成に基づいて弁論をする能力
 - ロ 法律に関する実務の基礎的素養

なお、入学者選抜にあたっては、司法制度改革の趣旨に鑑み、当然要求される公平性はもとより、既に大学において法学の一応の素養を修得している者に限らず、他の分野での専門的知識を有する者、さらには豊富な社会経験を有する者を入学者の 3 割以上を目途として受け入れる（開放性・多様性の確保）。そのために、法学既修者枠と法学未修者枠を区別して選抜を実施するとともに、一般選抜以外に、法学部以外の出身者や社会人または帰国者・外国出身者等を対象とする特別選抜を実施する。

2. 法学既修者枠の入学者選抜では、書類審査を通じて志願者の学習意欲及び学習態度を把握するとともに、論述式法律科目試験において、志願者が上記一乃至四に掲げる学識及び能力並びに素養を涵養する教育を受ける上で求められる適正及び能力を有するか否かを判定する。さらに面接により、これらの能力の有無・程度を実地に確認し、志願者の法曹として活躍するために不可欠なコミュニケーション能力についても判定する。また、法学未修者枠の入学者選抜では、書類審査を通じて志願者の学習意欲・学習態度、さらに法学部以外の出身者については他分野での専門的学習の成果、社会人等についてはこれまでの社会的経験を把握するとともに、小論文試験において、志願者が本法科大学院での履修の前提として要求される上記一乃至四の涵養を目的とする教育に耐えうる能力及び素養を有しているか否かを判定し、加えて面接により、これらの能力の有無・程度を実地に確認し、さらには法曹として必要な他者とのコミュニケーション能力を当該志願者がどの程度備えているかを判定する。

3. 本法科大学院では、以上に加え、「愛知大学大学院法務研究科と愛知大学法学部との法曹養成連携に関する協定」に基づき、法学既修者枠の入学者選抜において、本法科大学院の教育課程と円滑に接続し、体系的に編成された愛知大学法学部の教育課程における教育を受けた者に対して、論述式試験によらない特別選抜（5 年一貫型教育選抜）を実施する。

5 年一貫型教育選抜では、成績及び書類審査において、志願者の学習意欲及び学習態度を把握するとともに、法学既修者と同等の基本的な法律科目に関する基礎的学識を習得し、上記一乃至四に掲げられた学識及び能力並びに素養の涵養を目的とする教育に耐えうるだけの適正及び能力を備えているかを判定する。さらには、この方式による入学試験においても面接を行い、これらの能力の有無・程度を実地に確認し、当該志願者の法曹として要求されるコミュニケーション能力の程度についても判定した上で、入学の可否を決する。但し、受験した年度内に愛知大学法学部の法科大学院連携コースを修了できないことが確定した場合には、入学を認めない。

2. 入試日程・募集人員・募集方法

〈入試日程・募集人員〉

試験区分		募集人員	出願期間	試験日	試験予備日	合格発表日	第一次手続期間	第二次手続期間
A 日程入試	一般入試	A～D 日程 合計 20名	5 月 31 日（金）～ 6 月 8 日（土） 【消印有効】	6 月 22 日 （土）	6 月 23 日 （日）	6 月 28 日 （金）	6 月 28 日（金）～ 7 月 16 日（火）	2025 年 1 月 6 日 （月）～ 1 月 15 日 （水）
	特別入試 I・II							
B 日程入試	一般入試		8 月 16 日（金）～ 8 月 24 日（土） 【消印有効】	9 月 7 日 （土）	9 月 8 日 （日）	9 月 13 日 （金）	9 月 13 日（金）～ 9 月 30 日（月）	
	特別入試 I・II							
C 日程入試	一般入試		10 月 2 日（水）～ 10 月 10 日（木） 【消印有効】	10 月 26 日 （土）	10 月 27 日 （日）	11 月 1 日 （金）	11 月 1 日（金）～ 11 月 18 日（月）	
	特別入試 I・II							
D 日程入試	一般入試		12 月 13 日（金）～ 2025年1月6日(月) 【消印有効】	2025 年 1 月 18 日 （土）	2025 年 1 月 19 日 （日）	2025 年 1 月 24 日 （金）	2025 年 1 月 24 日（金）～ 1 月 31 日（金）	
	特別入試 I・II							

（注）1） 本学の入学定員は20名です。
2） 法学未修者（3年制）コース、法学既修者（2年制）コースの定員区分はしていません。
3） 特別入試 I・II の合格者は、法学未修者（3年制）コースへの入学となります。
4） 一般入試においては法学未修者コースと法学既修者コースを併願することができ、また特別入試 I・II と一般入試を併願することができます。
5） 入学校舎は車道校舎です。
※第二次手続きの延期は、2025年1月31日（金）（D日程の第二次手続最終日）まで可能です。
※転入学試験については、別途、2025年度法科大学院転入学試験募集要項を参照してください。
※本学法曹コース在籍者で5年一貫型教育選抜を志願する者は、別途、2025年度法科大学院5年一貫型教育選抜学生募集要項を参照してください。

《出願資格・入学資格審査申出期限》（詳細は次頁を参照してください。）

A 日程：2024 年 5 月 30 日（木）必着	B 日程：2024 年 8 月 16 日（金）必着
C 日程：2024 年 10 月 1 日（火）必着	D 日程：2024 年 12 月 12 日（木）必着

※障がい等により、受験・修学に際して際して特別な配慮を必要とする場合は、上記《出願資格・入学資格審査申出期限》までに文書で申し出てください。

3. 出願資格

【一般入試】

- 次の各号のいずれかに該当する者
- (1) 大学を卒業した者及び、2025 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者（大学とは、我が国の学校教育法第 83 条に定める大学（修業年限が 4 年以上の大学）をいう。）
 - (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者、又は 2025 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
 - (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者、又は 2025 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育

における 16 年の学校教育における課程を修了した者、又は 2025 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされる者に限る。）を有する者として当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、又は 2025 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者、又は 2025 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、又は 2025 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 学校教育法第 83 条に定める大学に 3 年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む）であって、法務研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認める者
- (10) 法務研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者

※出願資格 (9) について

①「所定の単位」

2 年次終了時まで、卒業に必要な単位のうち、**60 単位**以上を取得していることが必要です。

②「優れた成績」

修得したすべての単位（「合格」「認定」等を除く）の 3 分の 2 以上が「A（優）以上」又は「満点の 80% 以上」の評価であることが必要です。

・事前に「出願資格審査」を行います。所定の様式をウェブサイト (<http://www.aichi-u.ac.jp/lawschool/>) から入手して記入し、前頁の申出期限までに最新の学業成績証明書とともに大学院事務課車道事務室まで送付してください（送付された資料はお返ししません）。

※上記(3)(4)(6)(10)により出願しようとする者は、本大学院独自の出願資格審査を行います。所定の様式をウェブサイト (<http://www.aichi-u.ac.jp/lawschool/>) から入手し、前頁の期限までに最終学歴の「卒業証明書」又は「退学証明書」、及び「学業成績証明書」、国家資格を有する者は合格証明書等（コピー可）を大学院事務課車道事務室まで送付してください（送付された資料はお返ししません）。出願資格審査の日時・方法については、個別に通知します。

【特別入試Ⅰ】

次の各号のいずれにも該当する者

- (1) 大学を卒業した者、又は 2025 年 3 月に大学を卒業見込みの者
- (2) 大学で法律学を主専攻としなかった者又は社会人である者。なお、社会人とは、大学卒業後 2 年以上経過し、何らかの職歴（パート・アルバイト等を含む）を有する者又はこれに準ずるものとして本研究科が認めた者とする。

【特別入試Ⅱ】

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 国籍の如何を問わず、【一般入試】の出願資格(3)、(4)、(5)、(6)のいずれかに該当する者
- (2) 外国籍を有し、【一般入試】の出願資格(1)、(2)、(7)のいずれかに該当する者

なお、日本語を母語としない者は、日本語能力検定(JLPT)N1 に合格していることが必要です（他の資格では認められません）。3. 出願書類にしたがって、結果及び成績表の写しを提出してください。

4. 出願書類

①から⑧については本学所定の用紙をご利用ください。①③⑤⑥⑦はホームページからもダウンロードできます。①③⑤⑥⑦をコンピュータ等で作成する場合を、所定の用紙の様式に従って作成してください。

⑦書 類		備 考
①	入学志願票	巻末綴じ込みの所定の用紙に必要事項をすべて記入してください。(ワープロやコンピュータで作成したものも可)。
②	受験票	必要事項を記入し、 切手及び顔写真(①入学志願票と同一とする) を忘れずに貼付してください。
③	愛知大学法科大学院 志望理由書(注2)	巻末綴じ込みの所定の用紙を用い、4頁以内に収まるように、本学法科大学院志望の理由について自筆(黒色のペン又はボールペン)で記入してください(ワープロやコンピュータで作成したものも可)。
④	自己PR資料綴り (注2)	各種資格、外国語能力などを証明する証明書(コピー可)の名称を巻末綴じ込みの所定の用紙に記入してください。証明資料はA4版にコピーし、添付してください。
⑤⑥	特別入試志願書 特別入試Ⅰは⑤ 特別入試Ⅱは⑥ ※特別入試Ⅰ・Ⅱでは用紙が違うのでご注意ください。 特別入試Ⅰ・Ⅱを併願する場合は両方提出してください。	【特別入試Ⅰ】 社会人としての経験又は大学で専攻した分野の学習経験を法曹としてどのように活かすか等を中心に記入してください。 【特別入試Ⅱ】 外国の大学において学んだこと、外国人であることや外国での経験を、将来日本における法曹としていかに活用するか等を中心に記入してください。日本語を母語としない方は、日本語能力試験認定(JLPT・N1)の結果及び成績に関する書類の写しを必ず提出してください。 【特別入試Ⅰ・Ⅱ共通】巻末綴じ込みの所定用紙に自筆(黒色のペン又はボールペン)で記入してください。ワープロやコンピュータで作成したものも可。現在在職中の方は在職証明書等を、過去に在職していた方は何らかの証明する書類を添付してください。
⑦	法科大学院地域貢献 奨学生志願書	法科大学院地域貢献奨学生志願者のみ提出してください(巻末綴じ込みの所定の用紙に ワープロやコンピュータで作成したものも可)。法科大学院地域貢献奨学生については、「12.奨学金制度」(7ページ)を参照してください。
⑧	入学検定料振込用紙	ATMから現金又は通帳・キャッシュカードによりお支払いいただいた場合は、振込んだ際にATMから発行されるご利用明細書を指定の用紙に貼付し、提出してください。
⑨	宛名ラベル	志願票に記入した住所を3片とも記入してください。
⑩	学業成績証明書(注1)	各大学、大学院が発行したもの(発行後3ヵ月以内のもの)。 出身大学で証明書を取得し、厳封のまま提出してください。大学院修了又は在学中の場合は、大学(学部)、大学院両方の証明書を提出してください。 証明書の姓名が現在の姓名と異なる場合には、証明書と現在の姓名が同一人物だと分かる「戸籍抄本」を出願書類に同封してください。
⑪	卒業・修了(見込)証明書 (注1)	
⑫	パスポートの写し(注1) (日本国籍以外の方のみ)	氏名・国籍の記載頁及び在留資格の記載頁の写しを提出してください。

(注1) ⑩、⑪、⑫については、2併願目以降の日程の受験の際には提出を省略できます。その場合には①の所定欄に省略することを記入してください。

(注2) ③、④はクリップで留めてください(ホッチキス等で綴じないでください)。

(注3) 志願票等に記入された住所、氏名、その他の個人情報については、(1)受験票、(2)可否結果、(3)合格者・入学手続者への各種案内の発送、個人を特定しない集計処理、本学からの連絡にのみ使用します。なお、入学後は保証人及び学内機関に限り、情報提供する場合があります。

5. 出願方法・郵送先

上記出願書類を、本大学院所定の封筒を使用のうえ、「速達」及び「簡易書留」で郵送してください。

6. 入学検定料 5,000円

- (1) 入学検定料は、所定の振込依頼書に必要事項を記入し銀行窓口にて振込をしていただくか、コンビニエンスストア等に設置された ATM から現金または、通帳・キャッシュカードによりお支払いください（振込手数料は、出願者負担となります）。

入学検定料 振込先情報

振込口座：三菱UFJ銀行 すずかぜ支店 口座種類：普通預金

口座番号：4716997

口座名義：(学) 愛知大学

- (2) 銀行窓口で支払った場合には「振込受付証明書（C票）」を、ATM から支払った場合には ATM から発行される「利用明細書」を受験票の右の所定欄に貼付してください。
- (3) それぞれの入試日程において一般入試と特別入試等の複数種の試験を併願しても、入学検定料は 5,000 円のみです。
- (4) 各日程（例：A 日程と B 日程）を併願する場合は、それぞれ入学検定料を納入する必要があります。
- (注) いったん納入した入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。

7. 選考方法・併願・配点・判定基準・試験場

(1) 選考方法

出願書類及び下記の試験により総合判定して合格者を決定します。

選考内容	時 間	一般入試			特別入試 I・II
		未修者(専願)	既修者(専願)	未修者・既修者 (併願)	未修者
小論文	9:30～10:30 (60 分)	小論文		小論文	
面接	10:45～	面接			面接
憲法	10:45～11:30 (45 分)		憲法	憲法	
刑法	11:45～12:30 (45 分)		刑法	刑法	
昼食・休憩	12:30～13:15 (45 分)		昼食・休憩	昼食・休憩	
民法	13:15～14:00 (45 分)		民法	民法	
商法	14:15～15:00 (45 分)		商法	商法	
民事訴訟法	15:15～16:00 (45 分)		民事訴訟法	民事訴訟法	
休憩	16:00～16:30 (30 分)		休憩	休憩	
面接	16:30～		面接	面接	

※1 A・B・C 日程で法学未修者コースに合格し、入学手続を完了した者で、法学既修者コースを希望する場合、D 日程の法律科目試験（既修認定試験）を受験することができ、試験結果によっては、法学既修者コースに入学することができます（詳細は合格者に通知します）。なお、既修認定試験は名古屋試験場と東京試験場で受験できます。

※2 特別入試 I の面接は ZOOM 等を使用したオンライン方式により行います。受験にはパソコンまたはスマートフォン、タブレット端末等で ZOOM 等が利用することが必要です。特別入試 I のみ受験する場合、試験場へ向う必要はありません（ご自宅等での受験が可能です）。一般入試と併願する場合、名古屋試験場または東京試験場で受験できます。特別入試 II と併願する場合は名古屋試験場でのみ受験可能です。なお、特別入試 I と一般入試または特別入試 II を併願するために名古屋・東京（特別入試 II を併願する場合は名古屋）の試験場で受験する場合、特別入試 I の面接は本学が用意するパソコンをご利用いただけます。

※3 法律科目試験は 2024 年 4 月 1 日時点において施行されている法令に基づいて出題します。

※4 東京試験場の面接は筆記試験の翌日（日曜日）10:00 より（9:55 集合）オンライン方式（ZOOM）で行うことがあります。詳細は出願者に直接連絡します。

(2) 併願について

同一日程内で行われる一般入試と特別入試Ⅰ・Ⅱの併願が可能です。

特別入試Ⅰはオンライン方式で行います。特別入試Ⅰを専願する場合は、試験場へ出向く必要はありません。他の試験と併願する場合は名古屋試験場または東京試験場で受験できます。特別入試Ⅰ・Ⅱを併願する場合は、名古屋試験場で受験してください(東京試験場では特別入試Ⅱの試験を実施しません)。

東京試験場ではA、B、C、D日程の一般入試および特別入試Ⅰの受験が可能です。

- 1) 特別入試(Ⅰ・Ⅱとも)については、面接(10:45～)を実施します(ただし、一般入試と併願する場合は、同入試終了後に面接を実施します)。
- 2) 一般入試の法学未修者コースは小論文と面接、法学既修者コースは法律科目試験と面接を実施します。
- 3) 法学既修者コースを専願された方は小論文の試験がありませんが、法学既修者コースと法学未修者コースを併願された方は、法学未修者コースの小論文試験の受験が必要となりますので、ご注意ください。
- 4) 災害(地震、台風、その他)等により試験が実施できない場合は、原則翌日(日曜日)に実施します。その場合は、本大学院ウェブサイト に詳細を掲載します。ウェブサイトの閲覧が不可能な方は、大学院事務課車道事務室(052-937-8115)までお問い合わせください。

(3) 配点

【特別入試Ⅰ・Ⅱ】出願書類・面接 200 点の総合点 200 点(高得点順)で判定します。

【一般入試】

(未修者コース)小論文(1 問)150 点、出願書類・面接 100 点の総合点 250 点(高得点順)で判定します。

(既修者コース)出願書類・面接 100 点、法律科目試験 500 点(憲法:1 問 100 点、刑法:1 問 100 点、民法:1 問 100 点、商法:1 問 100 点、民事訴訟法:1 問 100 点)の総合点 600 点(高得点順)で判定します。

(4) 判定基準

- ① 出願書類は、入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)への適合性、学業成績、資格・特技(法律的素養を除く)、志望理由、文書作成能力、論理的表現力等を審査します。
- ② 面接は、「志望理由書」「特別入試志願書」等、提出書類に基づいて行います。志願者のコミュニケーション能力や、法曹への熱意・抱負などを判断することが面接を行う主な目的で、直接法律の知識を問うことはありません。面接時間は、受験者数にもよりますが、概ね 1 人 10～15 分程度を予定しています。受験者にコミュニケーション能力、他人との協調性、自発的に発言する能力、司法試験の CBT 化(パソコンを使った受験方法への変更)に対応できるパソコンを使った文書作成能力等が著しく欠落するため本大学院への入学が不適切と面接担当者が判断した場合には、教授会の審議を経て、他の試験結果を問わず不合格とすることがあります。
- ③ 小論文は、文章読解能力、論理的思考能力、表現力等を審査します。
- ④ 法律科目試験の合計点が一定の点数(275 点程度)に満たない場合は、原則として法学既修者として認定しません。また、法律科目試験の合計点が一定の点数を満たしている場合でも、特定の科目が一定の点数(40 点)を満たしていない場合は、原則として法学既修者としては不合格となります。
- ⑤ 既修者コースと未修者コースを併願した場合、法学既修者としては不合格であっても、法学未修者として合格点に達していれば、法学未修者として合格することになります。既修者コースを専願した場合は、小論文試験はありませんが、未修者コースと併願した場合は、未修者コースとしての採点も行いますので、小論文試験を受験していただくことになります。

(5) 試験場

- ① 名古屋試験場は、愛知大学車道（くるまみち）校舎に設置します。
- ② 東京試験場は、愛知大学東京霞が関オフィスに設置します。
- ③ 下記表のとおり、一般入試は名古屋試験場と東京試験場で試験を行います。特別入試Ⅰは、オンライン面接を行うため、試験場へ来る必要はありません（一般入試と併願する場合は、名古屋・東京のどちらかの試験場で受験できます）。特別入試Ⅱは名古屋試験場でのみ試験を行います。

※各試験場へのアクセスについては、募集要項裏表紙を参考にしてください。

※各試験場へは、公共交通機関をご利用ください。

試験区分・入試日程ごとの試験場

試験区分	コース・区分	入試日程・試験場			
		A 日程	B 日程	C 日程	D 日程
一般入試	法学未修者コース・既修者コース (専願・併願共)	名古屋・東京			
特別入試Ⅰ	法学未修者コース (法学専攻以外・社会人等)	名古屋・東京・自宅等			
特別入試Ⅱ	法学未修者コース (帰国者・外国出身者等)	名古屋のみ			
既修認定試験※	未修者コース合格者				
					名古屋・東京

※既修認定試験は、A～C 日程で未修者コースに合格し、既修者コースを希望する者が受験することが出来ます。

8. 受験上の注意**(1) 受験票の持参**

愛知大学法科大学院受験票を試験当日必ず持参してください。

(2) 集合時間

試験場には試験開始 60 分前から入場できます。試験開始時間 10 分前から試験に関する説明を行いますので、試験開始 10 分前までに指定された座席に着いてください。

(3) 遅刻限度

第 1 時限の試験開始後 20 分以内の遅刻に限り受験を認めます。なお、第 1 時限を受験していない者は、それ以降の試験を受験することができません。特別入試Ⅰ・Ⅱのいずれか又は両者のみを受験する場合は、集合時間までに到着していないと受験できないことがあります。

(4) 答案に使用可能な筆記用具

ペン（黒色）、ボールペン（黒色）のいずれかです。消えるボールペンや鉛筆の使用は認められません。

なお、下書き等に鉛筆、マーカーを使用することは認められています。

(5) 机の上に置ける携帯品

受験票、筆記用具、鉛筆削り、時計（時計機能だけのもの）、眼鏡、ハンカチ、袋から取り出されたティッシュペーパー、および目薬です。法律科目試験では、条文の抜粋を配付しますが、志願者数によっては六法を貸与する場合があります（六法の持ち込みはできません）。

(6) 不正行為

受験に関し不正行為があった場合は、その時点以降の受験はできません。また、既に受験した部分についても無効となります。

(7) 携帯電話

携帯電話等は、試験場に入る前に電源を切って、かばん等に入れておいてください。試験開始から試験終了までの間にかばん等より出ていた場合はその時点で不正行為となります。

(8) その他

自動車やバイクでの試験場構内への乗り入れはできません。公共交通機関をご利用ください。

9. 合格発表

- (1) 合格者の受験番号は、合格発表日当日午後 1 時に愛知大学法科大学院ウェブサイトで発表します。
- (2) 合格通知及び入学手続書類は本人宛に郵送します。

- (3) 電話やメールによる可否の照会には、一切応じません。
- (4) 合格者の入学手続状況により、追加合格を発表することがあります。追加合格は、入学志願票に記載してある電話番号に連絡の上、追加合格通知を郵送します。
- (5) 入学試験の受験者に係る成績は、本人の請求に基づき本人に限り開示します。成績開示方法等の詳細については、A～D日程すべての試験終了後、本大学院ウェブサイトに掲載いたします(2025年4月上旬頃掲載予定)。

10. 入学手続

第一次入学手続方法は、合格発表時に通知します。この期間中に、入学金を納付していただきます。

第一次入学手続者には、郵送にて**第二次入学手続方法**を通知します。この期間中に、入学金を除く学費等を納付していただきます(なお、学費については、11.「学費」を参照してください)。

A日程、B日程及びC日程については、他大学法科大学院併願者で、他大学の合格発表日が本学の第二次入学手続締切日以降となっている場合は、第二次入学手続を2025年1月31(金)まで延期することができます。詳細は、合格者宛に送付する「第一次入学手続案内」を参照してください。

11. 法学既修者(2年制)コースの単位認定について

法学既修者(2年制)コースの合格者には、36単位を超えない範囲で単位が認定されます。その際、次に掲げる法律基本科目の1年次配当科目17科目34単位について包括的に単位が認定され、愛知大学法科大学院の2年次に入学することが許可されます。

憲法Ⅰ、憲法Ⅱ、民法Ⅰ、民法Ⅱ、民法Ⅲ、民法Ⅳ、民法Ⅴ、民法Ⅵ、民法Ⅶ、民法Ⅷ、
刑法Ⅰ、刑法Ⅱ、刑法Ⅲ、商法Ⅰ、商法Ⅱ、民事訴訟法Ⅰ、民事訴訟法Ⅱ(いずれの科目も2単位)

12. 学費

2025年度入学者学費

種 別	金 額	支 払 期 日
入学金(入学時のみ)※	※本学出身者は、免除 200,000 円	第一次手続期間最終日
授業料(年額)	900,000 円	初年度 春学期分 は、 第二次手続期間最終日
教育充実費(年額)	270,000 円	

(注) 授業料・教育充実費については、**それぞれ春学期と秋学期に分けて2分の1ずつの分割納入です。**

その他、入学時に同窓会費(2024年度実績20,000円)の納入が必要となります(ただし、本学出身者は不要です)。徴収時期、金額等が変更される可能性がありますので、詳細は入学手続書類をご確認ください。

2025年3月31日(月)までに**(必着)**、文書で入学辞退の届け出があった場合は、入学金を除く学費等を返還いたします。

※上記の学費等は、本学の事情によって改定する場合があります。必ず入学手続書類でご確認ください。

13. 奨学金制度

学費負担を軽減できるよう、複数の奨学金制度を整えています。詳細は、本学法科大学院パンフレットあるいはウェブサイト(<http://www.aichi-u.ac.jp/lawschool>)の「奨学金」のページをご覧ください。このうち、「専門職大学院給付奨学金」及び「法科大学院地域貢献奨学金」については、希望の有無を「入学志願票」の該当欄に記入してください(合格発表と同時に採用予定者に通知します)。この専門職大学院給付奨学金と法科大学院地域貢献奨学金は併給可能です。

14. 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）と 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

（1）学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

1 愛知大学法科大学院は、教育課程編成及び実施に関する方針に基づき設定された教育課程の下で、所定の年数の教育を受け、必要修得単位を含む所定の単位を修得した学生に法務博士（専門職）の学位を授与する。

2 学位授与に際しては、本法科大学院の教育理念である、様々な場面で活躍するための「バランス感覚」、「豊かな教養」に基づく「優れた専門的な法律知識」と「その応用能力（法的な推論、分析、構成及び論述の能力）」を備えていることが求められる。

（2）教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

愛知大学法科大学院は、本法科大学院の目的・教育理念に基づき、「地域社会に貢献する」法曹として、様々な場面で活躍するための「バランス感覚」、「豊かな教養」に基づく「優れた専門的な法律知識」と「その応用能力（法的な推論、分析、構成及び論述の能力）」を涵養するために、次に掲げる点を重視して教育課程を編成する。

1 少人数による密度の高い教育 法曹に不可欠な法的知識を修得し、現実の法的課題を解決するための分析力及び思考力を修得するとともに、それらを運用するにあたり必要となる高度な倫理性を身につけるために、質疑による授業内容の確認をはじめとする双方向・多方向的な議論を重視した少人数教育を行う。

2 法的知識及び思考力を修得するための段階的かつ体系的な教育 法律基本科目については、法曹に共通して必要とされる専門的学識を涵養する基礎科目を履修した上で、専門的学識の応用能力（法的な推論、分析、構成及び論述の能力）を涵養する応用科目を履修する。これらの法律基本科目を履修した後に、法律実務基礎科目、基礎法学・隣接科目及び展開・先端科目を配置する。

3 研究者教員と実務家教員の協同教育 法律に関する実務の基礎的素養、専門的な法律の分野に関する専門的学識及びその応用能力を涵養するために、研究者教員と法律実務に精通している実務家教員が協同して教育を行う。

4 社会の多様化、高度専門技術化に対応した教育 現実の法的課題に対応するために豊かな教養を身に付け、バランス感覚を涵養するために基礎法学・隣接科目を設け、最先端の高度専門技術化した法的課題を解決する能力を涵養するために展開・先端科目を設ける。

5 厳格な成績評価 「学生の成績評価に関するガイドライン」に基づき、筆記試験を中心とした各授業のシラバスに定める方法により、厳格な成績評価及び単位認定を行い、学位授与方針に示した能力の涵養を保証する。

試験会場案内

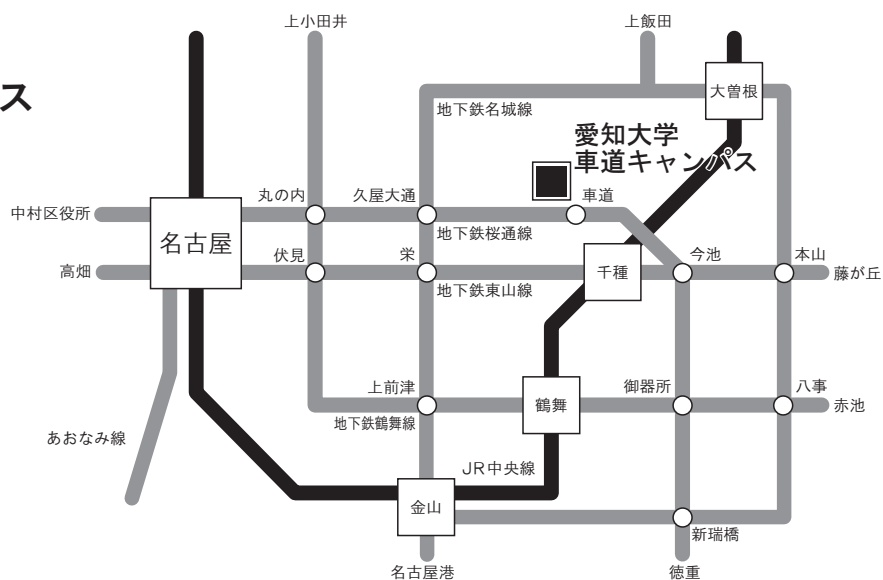
愛知大学 車道キャンパス

■地下鉄桜通線

車道駅下車、
1番出口から
徒歩2分

■JR千種駅下車、

地下鉄1番出口
から徒歩8分



東京試験場案内

◎霞が関コモンゲート西館 37 階

愛知大学東京霞ヶ関オフィス

東京都千代田区霞が関 3 丁目 2-1

■東京メトロ銀座線「虎ノ門駅」

5 番出口・11 番出口より徒歩 1 分

■東京メトロ丸ノ内線・日比谷線・

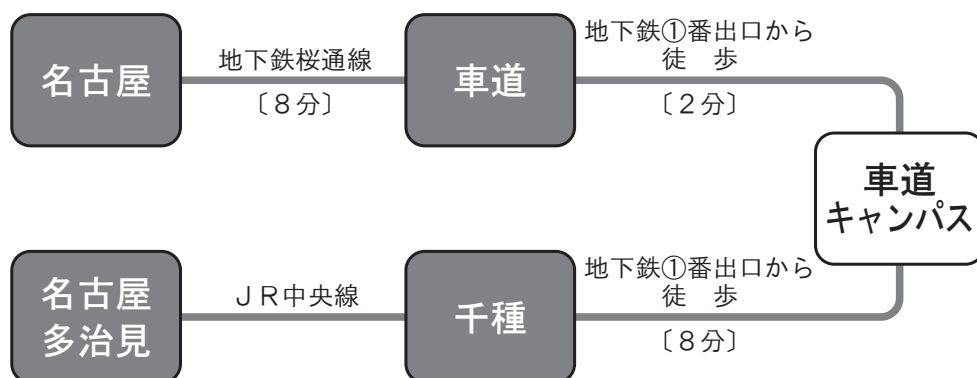
千代田線「霞が関駅」A 13 番出口
より徒歩 6 分





愛知大学 車道キャンパス
名古屋市東区筒井二丁目10-31

名古屋駅から10分、都心のインテリジェントキャンパス



- 地下鉄桜通線・名古屋駅～車道駅（8分）下車、①番出口から徒歩2分
- JR千種駅下車、地下鉄①番出口から徒歩8分